

Green Library

湖南中図書館便り



第50期生徒会 「新・図書委員会」 頑張ってます！！

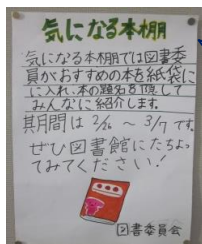
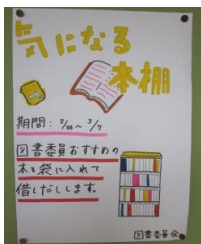


☆<新・図書委員会>最初の特別活動「気になる本棚」を図書館にて開催中です。

3年生への貸し出しが2月16日で終了しているため、1・2年生限定の企画となっています。

3学期の図書委員で選書とコメント書きを行いました。ぜひ図書館に見に来てください。

本はいつものように袋に入れてあるので、何の本かは借りるまで「秘密」です。コメントカードを見れば、きっと読みたくなる本と出会えると思いますよ♪



期末テスト期間の忙しい中、
委員長・副委員長がポスター
も作成。



主人公の大きな心の動きや
いろんな人の視点が見られて
おもしろいです。すこし恋愛が
入っているのが良かったです。
「守りたい!!」という人は、
主人公に感情移入して読んで
みて!!

1つのできごとをいくつかの
視点でみていく物語です。
物語がわかっていくと、どん
どんおもしろくなるので、ぜひ
みてください。

図書委員のおすすめコメント(原文ママ)です。
どんな本でしょうか？
「気になる本」は迷わず借りてくださいね。

☆R5年度の「ベストリーダー（多読者）表彰」を行います。

毎年、この時期に行う図書委員会のもうひとつの特別活動が「ベストリーダー（多読者）表彰」です。図書館の本をたくさん借りた、全校で上位10名の方に図書委員長から賞状と、副賞として文具をお渡しします。

「より多くの種類の本に出会って欲しい。」という目的のもとに行っている活動ですので、同じ本を複数回借りた場合は「1冊」でカウントしています。この活動のねらいを理解いただければと思います。今年度のベストリーダーの発表と表彰は3月4日を予定しています。

この紙面には載せませんが、お昼の放送で発表いたします。



朝読に
いかが
ですか？



朝の10分読書



読書で教養を
深めよう！

「能登半島地震」による断水は、未だ解消されていない地域もあります。

日本では水道からきれいな水が出ることは当たり前で、私たちは日頃、水が使えない状況などあまり考えずに生活をしているのではないのでしょうか。

「水」と私たちの暮らしについて改めて考えてみたいと思い、以下の本を手に取りました。みなさんも読んでみませんか？

『もし、水がなくなるとどうなるの？ 水の循環から気候変動まで』 西村書店

クリスティーナ・シュタインライン・文 ミーケ・シャイアー・絵 竹内 薫・監修 那須田 淳・訳

水という物質の特別な性質、循環のしくみ、暮らしや産業との関係、水をめぐる権利や気候変動の問題まで、豊富なイラストでわかりやすく紹介しているドイツ発祥の本です。「水」にまつわる基本的な知識を幅広く学ぶことができます。



『水辺のワンダー～世界を旅して未来を考えた～』 橋本淳司・著 文研出版

「水と人の暮らし」について、著者が自ら世界を旅して取材、体験したノンフィクション作品です。著者はその取材の中で、気候変動による影響が、時に水の恵みを奪い、時に水害による甚大な被害を及ぼしていることが分かってきたといいます。



日本や諸外国の様々な事例から、自分の暮らしと水について考え、自分でもできることは何かを探っていきます。

『水はどこからやってくる？水を育てる菌と土と森』 浜田久美子・著 講談社

森の土が水を安全にきれいにし、生き物を豊かにし、土砂災害など災害を起こしにくくするメカニズムをこの本で学んでみましょう。20年以上にわたって「水のための森づくり」を行ってきたサントリーへの取材をもとに、水のサイクルや日本の森の現状を知ることができます。



『ダム大百科 国土を造る巨大構造物を見る・知る・楽しむ』

萩原雅紀・監修 実業之日本社

日本国内には大小合わせて約3000基のダムが存在します。ダムには河川の管理や国土の保全、発電等さまざまな目的があります。年々多発するゲリラ豪雨などの水害への対応でも関心が高まっているダムについて学べる一冊。

